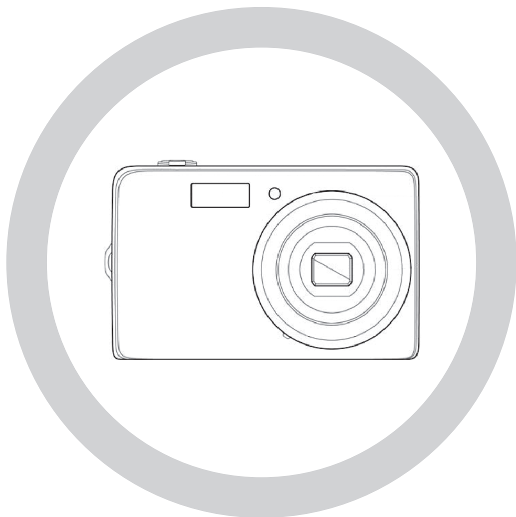
aigo



aigo デジタルカメラ
T1458
取 扱 説 明 書

本書には、重要な注意事項や製品のお取り扱い方法が記載されています。よくお読みのうえ、製品を正しく安全にお使いください。お読みになったあとは、大切に保管してください。

もくじ

安全に関するご注意

お使いになる前に、必ずお読みください。

本製品を安全に正しくご使用していただくため、下記には重要な内容が記載されています。よくお読みになり、記載事項を必ずお守りください。

 **危険**	この表示の項目は、「死亡または重傷などを負う危険発生の切迫度が高い」内容です。

 **警告**	この表示の項目は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

 **注意**	この表示の項目は、「人が傷害を負う可能性、または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

 危険

充電池を火中や水中に投入したり、加熱したりしないでください。

充電池の液漏れ・発熱・発火・破裂により、大けがや火災の原因になります。

ご自身で修理、分解、改造をしないでください。

故障の原因になる上に、感電の危険があります。また、本製品には小さな精密部品が内蔵されており、特に小さなお子様などのまわりでは誤飲の危険があります。絶対にしないでください。

付属品のケーブル類を首にかけてふざけたり遊んだりしないでください。

特に小さなお子様のまわりにケーブル類を放置しないでください。窒息事故の危険があります。

 警告

充電池に関する警告　以下は、充電池の液漏れ・発熱・発火・破裂の原因となり、大けがや火災の原因になります。

充電池から漏れた液が皮膚や服についた時は、すぐに水で洗浄してください。
万一、液が目に入ってしまった場合には、すぐに大量の水で洗浄し、直ちに医師に相談してください。

付属の充電池を他の機器で充電したり、他の充電池を本製品で充電しないでください。
本書記載の定められた以外の方法で充電しないでください。

発熱・発火・破裂により大けがや火災の原因となります。

充電池を小さいお子様の手の届く場所に放置しないでください。

誤飲による窒息や中毒の恐れがあります。

雷が鳴りだしたら、AC電源アダプターの電源プラグに触れないでください。
落雷による感電の原因になります。

充電池を取り外しする際には、必ず製品の電源をオフにしてください。
感電や、やけどの恐れがあります。

万一、製品が異常に熱くなる、異臭や煙りが出た場合や、機器の内部に異物や水などが入ってしまった場合は、直ちに使用を中止して、製品から充電池を取り外してください。
使用を中止しないと、火災や感電の原因となります（やけどに十分に注意しながら充電池を取り外してください）。その後弊社までお問い合わせください。

長時間カメラを使用した直後に充電池を取り出さないでください。
充電池が熱くなっているため、やけどの原因になる恐れがあります。

本製品をお手入れする場合には電源をオフにして、充電池を取り外してからおこなってください。
感電や、充電池に異常が起こった場合、やけどの恐れがあります。

その他取り扱いに関する警告

歩行中、乗り物の運転中などに本製品を使用しないでください。
転倒や交通事故の原因となります。

レンズを強い光源や太陽に向けないでください。
集光により、カメラ内部が破損・故障したり、ショートなどによる発熱で火災の原因となります。

付属のCDは「データCD-ROM」です。オーディオプレーヤでは絶対に再生しないでください。
大音量によって耳に障害を被ったり、機器などを破損する恐れがあります。

本製品に水を掛けたり、濡らしたり、多湿・ほこりの多い場所での使用・保管は避けてください。
内部に水やほこりが入ると、感電や故障、火災の原因になります。

長時間使用すると製品が熱くなることがありますので、ご注意ください。
熱い状態の製品と身体の一部が長時間触れたままでいると、低温火傷になる恐れがあります。

金属類・燃えやすいものなど、異物を内部にいれないでください。
火災・感電の原因となります。

フラッシュを人の目に近づけて発光しないでください。
一時的に視力に影響することがあります。特に乳幼児を撮影する時は気をつけてください。



注 意

撮影を始める前に『試し撮り』をしてください。
正常に撮影されることを確認してください。

製品を落としたり、叩いたり、乱暴な扱いをしないでください。
故障や破損の原因になります。

ストラップを使用して本製品を持ち運びする場合は、他のものに引っ掛けたり、ぶつけたりしないようにご注意ください。

けがや事故の原因となります。

製品を直射日光の当たる場所、いちじるしく高温・低温になる場所での使用・保管は避けてください。

製品が劣化し、故障の原因になります。

製品をお手入れする場合には、乾いた柔らかい布で汚れを拭き取ってください。アルコールやベンジンなど、化学薬品は使用しないでください。

製品が変質・変色してしまう恐れがあります。

製品の可動部、取り付け部を無理な方向に引っ張ったり、折り曲げたりしないでください。

故障や破損の原因になります。

充電池の電極部や、製品の金属端子部はいつも清潔な状態で使用してください。

汚れがあると接触が悪くなる場合があります。乾いた布でよく拭いてからご使用ください。

液晶モニタに衝撃を与えないでください。

破損したり、ガラスが割れたり、内部の液が出てくることがあります。ご注意ください。

製品を長期間ご使用にならない場合は、充電池を外して保管してください。

長期間充電池を入れたままにしていると、液漏れが起こる可能性があります。

液晶モニタにタッチする場合、先端が尖ったものなどで強くタッチしないでください。

液晶モニタが傷つく原因となります。

その他 ご注意

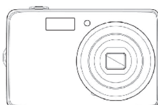
◎ 本製品およびパソコンの不具合により、データが破損、または消去された場合のデータ内容の補償に対し、当社では一切の責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
◎ 本製品でのご使用により生じたその他の機器やソフトの損害に対し、当社では一切の責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
◎ 本製品でのご使用、または使用不能から生じる附随的な損害（事業の利益損失、中断など含む）に対し、当社では一切の責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
◎ 本書記載の誤りなどについての補償はご容赦ください。

著作権についてのご注意

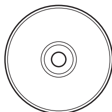
本製品で記録したものを私的な目的以外で著作権者、およびほかの権利者の承諾を得ずに複製・配布・配信することは、著作権法および国際条約の規定により禁止されています。なお、実演、興業、展示物などで、個人として楽しむなどの目的であっても、記録を制限している場合があるのでご注意ください。

パッケージ内容

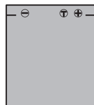
ご使用の前にご確認ください。



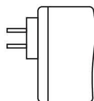
カメラ本体



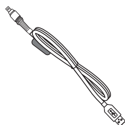
CD-ROM



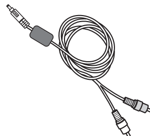
専用リチウムイオン充電池



AC電源アダプター



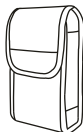
USBケーブル



AVケーブル



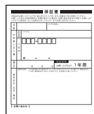
ストラップ



ポーチ



取扱説明書(本書)

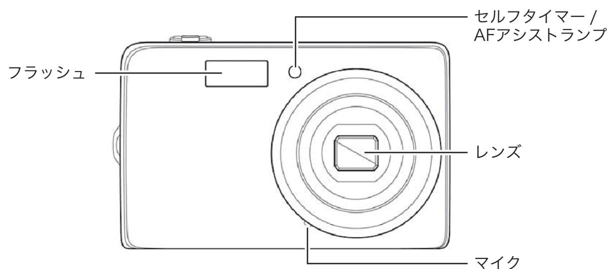


保証書

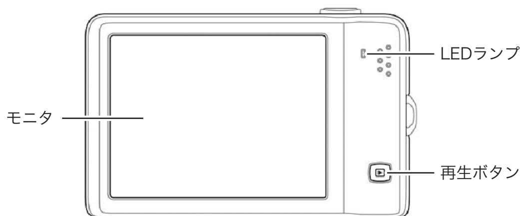
(注)イラストと実際の形状が若干異なる場合があります。

各部の名称

前面



背面



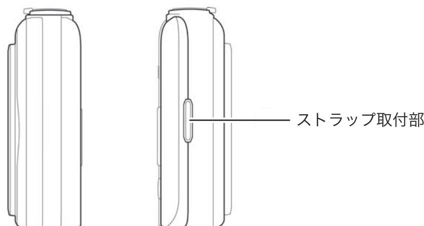
上下面

手ブレ軽減ボタン
ズームレバー
電源ボタン
シャッター

三脚用穴
スピーカー
USB接続端子
充電池カバー

充電池カバー内部
充電池収納部
カードスロット

左右側面



撮影の前に

電源について

本製品では、必ず付属の**専用リチウムイオン充電池**を使用してください。

◆P.6～8に記載の電池に関する使用上の注意をよくお読みください。



○付属のリチウムイオン充電池は本製品専用です。絶対に他の充電池を使用しないでください。また、本充電池を他製品で使用したり、他機器で充電しないでください。

充電池をセットする



○カメラ本体から充電池を着脱する場合は、必ず電源をオフにしてください。
○充電池をカメラ本体にセットする際、電池の＋−方向に注意してください。

図1



ロックをスライドして開く

図2



充電池をセットする

①**充電池カバー**の**ロック**部を図1の方向にスライドすると、**充電池カバー**が開きます。

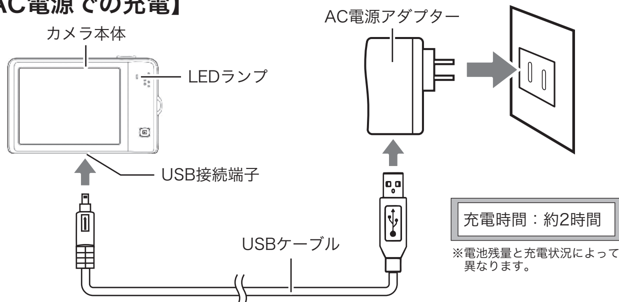
②図２のように**充電池収納部**の**ロック**をスライドさせて、付属の**充電池**を**充電池収納部**にセットしてください（方向に注意してください）。

③最後に**充電池カバー**をしっかりと閉めます。

充電池を充電する

本製品に付属されたリチウムイオン充電池の充電は、カメラ本体でおこないます。

【AC電源での充電】



①充電池をカメラ本体にセットします。
②カメラ本体と**AC電源アダプター**を**USBケーブル**で接続します。
③**AC電源アダプター**を家庭用電源コンセントに接続します。カメラ本体の**〈LEDランプ〉**が点滅します。
④**〈LEDランプ〉**が消灯したら、充電は終了です。



○充電が終了したら、すみやかにAC電源アダプターをコンセントから抜いてください。
○カメラ本体に誤った方向で無理に充電池をセットすると、充電池もしくはカメラ本体が破損する恐れがあります。ご注意ください。
○充電池に関する注意事項がP.6～8に記載されています。必ずよくお読みになり、正しく安全にご使用ください。

【USB給電での充電】

リチウムイオン充電池の充電は、パソコン等のUSB接続端子に、USBケーブルで接続してもおこなえます。

①充電池をカメラ本体にセットします。
②**USBケーブル**でカメラ本体をパソコン等(電源オン)に接続します。
③充電池の充電が始まります。

SDメモリーカードを使う

撮影したファイルは、カメラ本体の内蔵メモリに記録されますが、**SDメモリーカード**を使用すれば、撮影枚数/時間を増やすことができます。

SDメモリーカード(別売・2GBまで)・SDHCメモリーカード(別売・32GBまで)対応。



○カードの着脱をする場合は、必ずカメラの電源をオフにしてください。電源がオンの状態でおこなうと、データの破損、およびカメラの故障の原因になります。

使用時のご注意

ライトプロテクトスイッチについて

SD/SDHCメモリーカードには「ライトプロテクトスイッチ」がついています。このスイッチがロックされている状態では、データの書き込み/消去が禁止され、記録されているデータが保護されます。記録/消去する際には、ロックが解除されていることを確認してください。

接続・転送中にカードを取り外さない

カメラとパソコンを接続したり、パソコンへデータを転送している最中に、カードをカメラから取り外さないでください。記録されているデータ、カード、カメラが破損する恐れがあります。

カードのフォーマット(初期化)はカメラで

カードのフォーマットは、必ずカメラのフォーマット機能を使用しておこなってください(→P.51『メモリキット』の『フォーマット』)。

ファイル名/ディレクトリ名を変更しない

カメラとパソコンの接続中、パソコンにおいてカードに記録されている画像データのファイル名やディレクトリ名を変更しないでください。カメラが認識できなくなり、機能に障害をもたらす恐れがあります。

○カードは精密機器です。乱暴に扱わないでください。また、静電気をおびていると、認識されなかったり、カメラが誤作動する場合があります。

○カードを使用中、誤作動や故障により記録データが失われる場合があります。その場合、故障や損害の原因、内容に関わらず、当社では一切の責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

○カードに異常がある場合は、フォーマット(初期化)することで正常になる場合があります。(フォーマットを行うと、記録されているデータはすべて失われます。予めご了承の上でフォーマットをおこなってください。)

○カードが汚れてしまった場合は、乾いた柔らかい布などで拭いてください。

SDメモリーカードをセットする

SDメモリーカードは**カードスロット**に差し込みます。

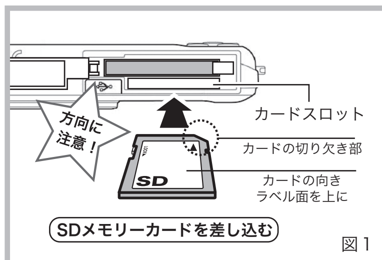


図1

①カメラの電源がオフになっていることを確認します。

②充電池カバーのロックをスライドさせて､充電池カバーを開きます。

③SDメモリーカードは方向に注意して､**カードスロット**に､カチッと音がするまでしっかりと差し込みます(図1参照)。

④充電池カバーをしっかりと閉めます。

⑤カメラの電源をオンにします。モニタにSDメモリーカードのアイコン ➡ が表示されます。

◆SDメモリーカードを取り外すときは､指で軽く押すとSDメモリーカードが跳ね上がり､引き抜くことができます。

電源のオン/オフ

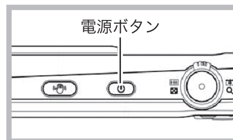
電源をオンにするには**〈電源〉**ボタンを押すか、**〈再生〉**ボタンを押します。

〈電源〉ボタンを押すと**記録モード**で起動します。
〈再生〉ボタンを押すと**再生モード**で起動します。

電源をオフにするには**〈電源〉**ボタンを押します。

電源の消し忘れ、電池消耗防止の『省電力』機能(→P.50)を設定することができます。何も操作しない状態が設定分(1分、3分、5分)間続くと、自動的にモニタがオフになり、その後何も操作しない状態が1分間続くと、自動的に電源がオフになります。

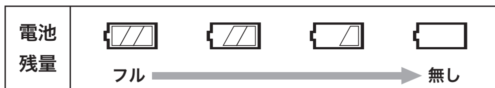
◆動画の録画中、音声の録音中、動画ファイルの再生中、USB接続中ではこの機能は働きません。





電池の残量表示

電池の残量は、モニタ上の**バッテリーアイコン**で4段階に表示されます。



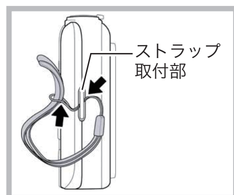
LEDランプ

LEDランプの表示内容は以下の状態をあらわします(ランプの位置はP.10参照)。

ランプの状態	ステイタスランプ
点灯	電源オン時
点滅	静止画撮影後、カメラ内処理中 / セルフタイマー使用中 / 動画を録画中 / フラッシュのチャージ中

ストラップを取り付ける

ストラップは本体の**ストラップ取付部**に取り付けられます。
ストラップを持って、本カメラを振り回したりしないで下さい。故障の原因となります。



タッチパネルの操作方法

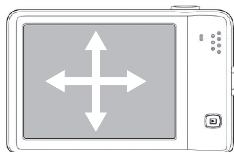
カメラ本体の各種ボタンを操作する他に、モニタを直接タッチして（触れて）操作することができます。モニタにあるそれぞれのアイコンのできるだけ中央部分をタッチしてください。すでにパネルにタッチしている状態で、他の箇所を新たにタッチしても動作しません。



○モニタを強く押したり、尖った物で押さないで下さい。
モニタの破損・故障の原因となります。

スライディング

モニタの中央部で上下や右左に指先を滑らせると、再生モードでファイルを移動したり、拡大表示中の静止画ファイルの表示範囲を変更できます。



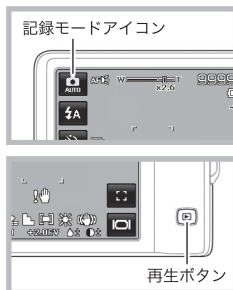
モードの切り換え

モードには❶**記録モード**、❷**再生モード**、❸**設定モード**があります。

記録モードには○**静止画モード(各種シーンモード)**、○**動画モード**、○**録音モード**があり、**〈記録モード〉**アイコンをタッチして設定します。

再生モードは**〈再生〉**ボタンを押して設定します。

設定モードはそれぞれのモードで Menu アイコンをタッチします。メニュー画面が表示されたら**設定モード**の アイコンをタッチして設定します。



記録モードの切り換え

モニタの❶**〈記録モード〉**アイコンをタッチして、記録モードの切り換えや、静止画撮影の為のいろいろな**シーンモード**の切り換えができます。アイコンの表示は設定された内容で変わります。

①モニタの**〈記録モード〉**アイコンをタッチすると、記録モードの選択画面が表示されます。

②左右の ◀ アイコン、▶ アイコンをタッチして選択したい静止画のシーンモードを中央の枠内に表示させます。シーンモードを変更しない場合は アイコンをタッチすると記録モードに戻ります。

③中央の枠内のアイコンをタッチすると選択が確定し、記録モードに戻ります。



【記録モードの選択画面】



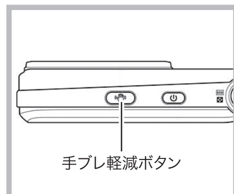
シーンモードはあらかじめ撮影環境にあわせて適した設定がされているため、フラッシュやメニュー設定において設定に制限があったり、設定自体が選択できないものがあります。

手ブレ軽減

〈手ブレ軽減〉ボタンを押して設定します（静止画モードのみ）。

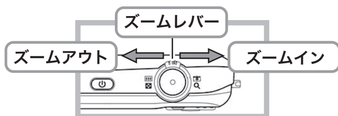
遠くの被写体を望遠で撮影したり、動きの速い被写体を撮影したり、薄暗い場所で撮影したりするときに画像がブレて見えることがあります。手ブレ軽減でこのようなブレを軽減することができます。

上記の機能は、被写体の状態等によって、必ずしも充分に機能が働かない場合があります。



ズーム撮影をする

最大20倍までの**ズーム撮影**ができます。
カメラ上面にある **〈ズームレバー〉**でズームを調整します。右の方向に押すと**ズームイン（望遠）**、左の方向に押すと**ズームアウト（広角）**します。



ズームインジケータ



光学ズーム/デジタルズーム

光学ズーム　デジタルズーム

W　T

x2.6･･･デジタルズーム倍率

光学ズーム　：最大4倍
デジタルズーム　：最大5倍

◆高倍率のデジタルズームの使用は、画質の劣化原因となります。

◆動画撮影時、迅速な記録（→P.23）、顔追跡（→P.24）、ISO6400（→P.28）にはデジタルズームは使用できません。

モニタ表示の切り換え

モニタの アイコンをタッチするごとに、モニタの表示方法を切り換えます。

日付と時間の設定

撮影を始める前に、**日付と時間**の設定をおこないます。

①カメラの電源をオンにし、モニタの Menu アイコンをタッチします。

②**記録モード**のメニュー画面が表示されたら、**設定モード**の アイコンをタッチします。

③設定モードのメニューから**『日時』**をタッチします。

④「年」が黄色く選択されていますので、上下の ▲ アイコン、▼ アイコンをタッチして数値を入力します。

◆ ▲ アイコン、▼ アイコンはタッチしたままでも入力ができます。

⑤続けて、「月」をタッチします。「月」が黄色く選択されますので、同様に上下の ▲ アイコン、▼ アイコンをタッチして数値を入力します。

⑥同じ操作で「日」を設定します。

⑦次に画面下の**〈時間表示〉**アイコンをタッチします。

⑧「年」、「月」、「日」と同じ操作で「時」と「分」を設定します。

⑨最後に午前か午後を、それぞれのアイコンにタッチして設定します。

⑩全ての設定が終了したら OK アイコンをタッチすると設定モードのメニュー画面に戻ります。

⑪ ✕ アイコンをタッチすると記録モードに戻ります。

◆長期間カメラに電力が供給されない状態で放置した後は、その都度本設定をおこなってください。

【記録モードのメニュー画面】



【設定モードのメニュー画面】

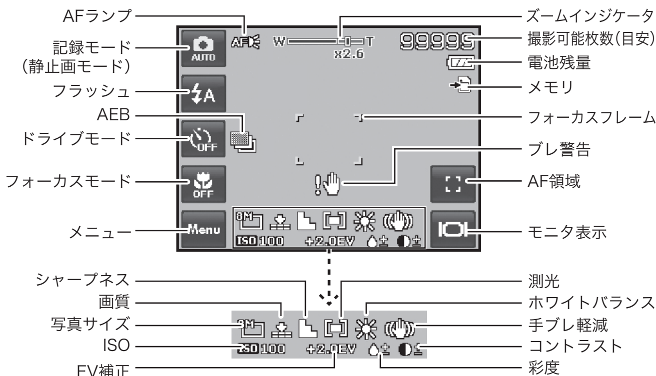






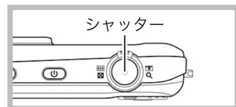
静止画モード

静止画を撮影する



①カメラの電源をオンにします。

②モニタの**〈記録モード〉**アイコンをタッチして、**静止画のシーンモード**を選択します(→P.18)。



③モニタで被写体を確認し、**〈シャッター〉**を半押ししてピントを合わせます。モニタ上のフォーカスフレームが緑色に変化すると、オートフォーカスのピントが合った状態です。赤色の場合はピントが合っていません。もう一度カメラを被写体に向け直してピントを合わせてください。

④**〈シャッター〉**を押し切り撮影します。撮影時、カメラがぶれないようにしっかりと固定してください。

◆撮影の前に、日付と時間の設定をおこなってください(→ P.20)。
◆撮影可能枚数はメモリの空き容量に依存します。

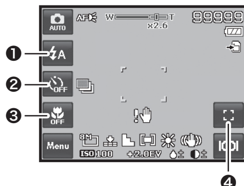


○**〈シャッター〉**を押した直後はカメラが撮影・記録処理している最中です。**カメラをしっかりと固定し、絶対に動かさないでください。**直後にカメラを動かしてしまうと、画像がブレてしまいます。

静止画モードのクイック設定

静止画モードでモニタの**各種アイコン**をタッチすると、静止画撮影の為のいろいろな**クイック設定**ができます。クイック設定は以下の4種類です。アイコンの表示は設定された内容で変わります。

❶ フラッシュ　❷ ドライブモード　❸ フォーカスモード　❹ AF領域



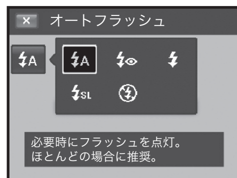
フラッシュ

静止画モードではフラッシュ撮影ができます。

モニタの ϟA アイコンにタッチすると、その時の静止画のシーンモードで使用できるフラッシュのアイコンが表示されます。アイコンにタッチして、フラッシュの設定を決定します。

◆シーンモードによっては使用できない場合や、他の機能との組み合わせにより、選べる種類に制限がある場合があります。

【フラッシュの選択画面】



アイコン	機　能	はたらき
ϟA	オートフラッシュ	環境に合わせて自動的にフラッシュの使用/不使用を判断します。
ϟ👁	赤目軽減	被写体の赤目写りを軽減します。自動的にフラッシュの使用/不使用を判断します。
ϟ	フォースオン	どのような環境でも、フラッシュは発光します。
ϟSL	スローシンク	シャッタースピードを遅くして発光します。自動的にフラッシュの使用/不使用を判断します。
⊘ϟ	フォースオフ	フラッシュを使用しません。

ドライブモード

静止画モードではドライブモードでセルフタイマー撮影や連写の設定ができます。

モニタの アイコンにタッチすると、その時の静止画のシーンモードで使用できるドライブモードのアイコンが表示されます。アイコンにタッチして、ドライブモードの設定を決定します。

◆シーンモードによっては使用できない場合や、他の機能との組み合わせにより、選べる種類に制限がある場合があります。

【ドライブモードの選択画面】



アイコン	機　能	はたらき
	10秒タイマー	10秒後に撮影をします。
	2秒タイマー	2秒後に撮影をします。
	10秒タイマー(2枚)	10秒後に1回、その2秒後にもう1回撮影をします。
	連写	**〈シャッター〉**を押している間、撮影をします。
	迅速な記録	**〈シャッター〉**を押すと30枚撮影をします。写真サイズはVGA(640×480ピクセル)になります。
	オフ	ドライブモードを使用しません。

フォーカスモード

静止画モードではフォーカスモードでフォーカスの設定ができます。

モニタの アイコンにタッチすると、その時の静止画のシーンモードで使用できるフォーカスモードのアイコンが表示されます。アイコンにタッチして、フォーカスモードの設定を決定します。

◆シーンモードによっては使用できない場合や、他の機能との組み合わせにより、選べる種類に制限がある場合があります。

【フォ−カスモードの選択画面】



アイコン	機　能	はたらき
OFF	オートフォーカス	通常撮影に使用します。 12cm ～ ∞(ワイド時)、70cm ～ ∞(テレ時)
	マクロ	マクロ撮影に使用します。 12cm ～ 100cm(ワイド時)、70cm ～ 120cm(テレ時)
PF	パンフォーカス	全ての被写体に対してフォーカスをあわせます。
INF	高感度	風景撮影等の遠距離の被写体の撮影に適しています。

AF領域

静止画モードではAF領域でオートフォーカスの適用範囲の設定ができます。

モニタの アイコンにタッチすると、その時の静止画のシーンモードで使用できるAF領域のアイコンが表示されます。アイコンにタッチして、AF領域の設定を決定します。

◆シーンモードによっては使用できない場合や、他の機能との組み合わせにより、選べる種類に制限がある場合があります。

【AF領域の選択画面】



アイコン	機　能	はたらき
	ワイド	ワイドフレーム内でフォーカスをあわせます。
	中央部重点	中央部を重点的にフォーカスをあわせます。
	顔追跡	人物の顔を認識し、追跡してフォーカスをあわせます。
	タッチキャプチャ	モニタにタッチしてフォーカスフレームをスライドさせます。フォーカスフレームから指をはなしてフォーカスエリアを決定すると自動で撮影します。

静止画モードのメニュー設定

モニタ左下部の Menu アイコンをタッチすると、静止画撮影のいろいろな設定が選択できる**メニュー画面**になります。

メニュー設定の基本操作

①静止画モードで Menu アイコンをタッチすると、記録モードの**メニュー画面**が表示されます。

②モニタの ▲ アイコン、▼ アイコンをタッチして『メニュー項目』から設定したい項目を選択しタッチします。

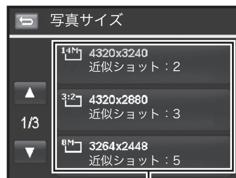
③『サブメニュー項目』が表示されるので、設定したい項目にタッチして設定を確定します。設定が確定するとメニュー画面に戻ります。

※設定を変更しない場合は アイコンをタッチするとメニュー画面に戻ります。 × アイコンをタッチすると記録モードに戻ります。

【記録モードのメニュー画面】



メニュー項目



サブメニュー項目

記録モード

記録モードやシーンモードを設定します。設定方法はP.18を参照してください。

アイコン	シーン名	はたらき
AUTO	**オート**	環境にあわせ、カメラのセンサーが自動調整します。
	動画	動画モード(→P.31)。
P	**プログラム**	メニュー項目より、詳細な設定ができます。

アイコン	シーン名	はたらき
	インテリジェント	環境にあわせ、カメラのセンサーが自動でモードを選択します。
	ポートレート	人物の撮影に適したモードです。
	風景	風景の撮影に適したモードです。
	夕日	夕暮れ時の撮影に適したモードです。
	逆光	逆光時の撮影に適したモードです。
	キッズ	動きの速い子供の撮影に適したモードです。
	夜景	夜景の撮影に適したモードです。
LOMO	**ロモ**	画像にロモカメラで撮影したような効果を与えます。中央部は明るく、端がかすみ暗くなります。
	花火	夜、暗い中で、特に花火などの撮影に適したモードです。
	雪景色	光が乱反射する雪景色の撮影に適したモードです。
	スポーツ	動きの速い被写体の撮影に適したモードです。
	パーティ	室内でのパーティーなどの、人物の撮影に適したモードです。
	キャンドルライト	キャンドルなどの淡い明かりの被写体の撮影に適したモードです。
	夜景ポートレート	夜、暗い中での人物の撮影に適したモードです。
	肌色	女性など、肌を美しく撮影するのに適したモードです。
	流水	流れる水の撮影に適したモードです。
	食べ物	料理の撮影に適したモードです。マクロ撮影になります。
	建物	高層ビルなどの撮影に適したモードです。
	文字	文字や図形などの撮影に適したモードです。
	木の葉	木の葉などの植物の撮影に適したモードです。緑色や青色を強調し、明るく補正します。
	オークション	オークション出品用の撮影に適したモードです。1～4枚の画像を、1枚の画像に分割して統合します。サイズはVGAです。

アイコン	シーン名	はたらき
	スマイルキャプチャ	カメラが被写体の『笑顔』を検出すると、自動で撮影をします。
	まばたき検出	『まばたき』を検出すると、保存時に警告します。
	多重撮影	人に撮影を頼むとき、あらかじめ撮影ポイントのガイドを作成するモードです。あなたは最初に撮影ポイントで**〈シャッター〉**を押します。撮影ポイントの一部がガイドとして薄く表示されるので、頼まれた人はガイドに合わせて撮影できます。
	恋人	2人の顔が検出されると、**〈シャッター〉**を押さなくても自動でセルフタイマー撮影をおこないます。
	自画像	1人の顔が検出されると、**〈シャッター〉**を押さなくても自動でセルフタイマー撮影をおこないます。
	HDR	このモードではデジタル処理は必要な部分にだけ適用され、ハイライト部からシャドウ部まで、自然なコントラストを維持します。
	魚眼レンズ	画像に魚眼レンズで撮影したような効果を与えます。
	録音	録音モード(→P.34)。

写真サイズ

静止画の画像サイズを設定します(サイズ単位:ピクセル)。

14M ：4320 x 3240　3:2 ：4320 x 2880　8M ：3264 x 2448
5M ：2592 x 1944　3M ：2048 x 1536　16:9 ：1920 x 1080
VGA ：640 x 480

画質

静止画の画質を設定します。

スーパーファイン / ファイン / 標準

EV補正(露出)

EV補正(静止画の明るさの補正)の設定です。

+2.0EV / +1.7EV / +1.3EV / +1.0EV / +0.7EV / +0.3EV / 0EV / -0.3EV / -0.7EV / -1.0EV / -1.3EV / -1.7EV / -2.0EV

ホワイトバランス

光源による色の違いを自然な色合いに近付ける調整です。

アイコン	機　能	はたらき
AWB	**オート**	環境にあわせ、カメラが自動調整します。
	太陽光	晴れた屋外に適しています。
	曇り	曇天の屋外に適しています。
	白熱灯	白熱電球照明の環境に適しています。
1	**蛍光灯1**	電球色の蛍光灯照明の環境に適しています。
2	**蛍光灯2**	昼光色の蛍光灯照明の環境に適しています。
	カスタム	**〈シャッター〉**を押すとカメラが環境に従って自動的に適切なホワイトバランス設定を調整します。

ISO

静止画のISO感度を設定します。

AUTO / 100 / 200 / 400 / 800 / 1600 / 3200 / 6400

◆手ブレ軽減を設定しているとISO感度の設定はできません。
◆ISO感度3200/6400は、写真サイズ3M/16:9/VGAにのみ対応します。
◆感度を上げると暗い環境での撮影も可能になりますが、ノイズが増え画質が劣化します。

測光

レンズに適切な光が入るように被写体の明るさを計測する、測光方式を設定します。

アイコン	機　能	はたらき
	マルチ	中央を重点的に計測し、同時に周辺部分も計測します。
	中央部重点	中央を重点的に計測します。
	スポット	中央に配置された被写体のごく狭い範囲を計測します。

AEB(自動段階露出)

一回のシャッターで適正露出を中心に、暗めと明るめの写真3枚を連続して撮影します。

オン / **オフ**

AF領域

AF領域のオートフォーカスの適用範囲を設定します。P.24を参照してください。

AFランプ

オートフォーカス用補助ランプの使用設定をします。

オート / **オフ**

シャープネス

静止画のシャープネス(鮮鋭度)を設定します。

高 / **標準** / **低**

彩度

静止画の彩度を設定します。

高 / **標準** / **低**

コントラスト

静止画のコントラストを設定します。

高 / **標準** / **低**

フラッシュ

フラッシュを設定します。P.22を参照してください。

ドライブモード

セルフタイマー撮影や連写の設定をします。P.23を参照してください。

フォーカスモード

フォーカスの設定します。P.23を参照してください。

カラーコード

静止画の色合い(カラー)を設定します。モニタの ‹ アイコン、› アイコンをタッチしてカラーを選択し、選択されたカラーのアイコンにタッチすると確定します。

ノーマル / ビビット / セピア / 白黒 / レッド / グリーン / ブルー / カラーアクセント(レッド) / カラーアクセント(グリーン) / カラーアクセント(ブルー)

デジタルズーム

デジタルズームを使用する場合は、本機能を設定します。

アイコン	機　能	はたらき
Int.	インテレクトズーム	ほとんど歪みのないデジタルズームが使用できます。
Std.	標準ズーム	最大5倍の標準のデジタルズームが使用できます。
OFF	オフ	デジタルズームを使用しません。

◆シーンモード設定や写真サイズ設定により、デジタルズーム倍率が変化したり使用できない場合があります。
◆高倍率では画像品質が劣化する場合があります。

日付スタンプ

静止画に日付や時刻のデータを表示することができます。

日付のみ / 日付&時刻 / オフ

◆先に日時の設定をおこなってください(→P.20)。

自動表示

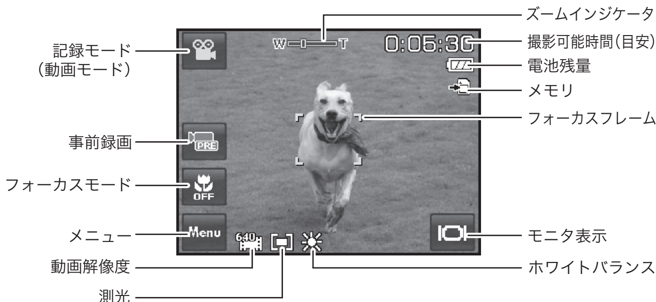
静止画の撮影後、約1秒間撮影した画像をモニタに表示することができます。

オン / オフ



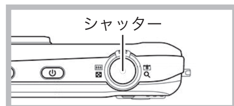
○メニュー項目のなかには、シーンモードにより表示されないものがあります。
○メニュー項目の組み合わせによっては選択できないものがあります。

動画を撮影する



①カメラの電源をオンにします。

②モニタの**〈記録モード〉**アイコンをタッチして、**動画モード**を選択します（→P.18）。



③モニタで被写体を確認し、**〈シャッター〉**を半押ししてピントを合わせます。モニタ上のフォーカスフレームが緑色に変化すると、オートフォーカスのピントが合った状態です。赤色の場合はピントが合っていません。もう一度カメラを被写体に向け直してピントを合わせてください。

④**〈シャッター〉**を押し切り動画撮影を開始します。

◆撮影中の撮影時間が表示されます。

⑤撮影を一旦停止するには、録画画面でモニタ右下の ●II アイコンをタッチすると一旦停止します。撮影を再開するには、再度 ●II アイコンをタッチします。

⑥撮影を停止するには、再度**〈シャッター〉**を押します。

◆撮影の前に、日付と時間の設定をおこなってください（→ P.20）。
◆撮影可能時間はメモリの空き容量に依存し、空き容量が無くなると撮影は終了し、モニタに「メモリーフル」の表示が出ます。また、動画ファイルの1ファイルの再大容量は4GBです。撮影時にファイル容量が4GBに達すると撮影を終了します。
◆ズーム操作中は音声は録音されません。
◆動画ファイルはAVIファイル形式です。

動画モードのクイック設定

動画モードでモニタの**各種アイコン**をタッチすると、動画撮影の為のいろいろな**クイック設定**ができます。クイック設定は以下の2種類です。アイコンの表示は設定された内容で変わります。



❶ 事前録画　❷ フォーカスモード

◆撮影停止状態でのみ設定できます。

事前録画

録画を開始した時から3秒前の映像を追加する機能です。

モニタの PRE OFF アイコンをタッチすると赤い PRE アイコンに変わり、事前録画機能が設定されます。

◆動画モードで事前に3秒以上、被写体にカメラを向けている必要があります。

フォーカスモード

動画モードでもフォーカスモードでフォーカスの設定ができます。
設定方法や種類は静止画モードと同様です。P.23を参照してください。

動画モードのメニュー設定

モニタ左下部の Menu アイコンをタッチすると、動画撮影のいろいろな設定が選択できる**メニュー画面**になります。
メニュー設定の操作方法はP.25を参照してください。

記録モード

記録モードやシーンモードを設定します。
設定方法や種類は静止画モードと同様です。P.18、P.25～27を参照してください。

動画解像度

動画の解像度を設定します(サイズ単位:ピクセル)。

16:9 : 1280 x 720

640 : 640 x 480

320 : 320 x 240

Web : 640 x 480

◆解像度16:9(1280 x 720ピクセル)はSDHCメモリーカードにのみ対応しています。

◆解像度Web(640 x 480ピクセル)はインターネットのアップロード用に適し、ファイルサイズが100MBに達すると自動的に録画を停止します。

ホワイトバランス

光源による色の違いを自然な色合いに近付ける調整です。
設定方法や種類は静止画モードと同様です。P.28を参照してください。

測光

レンズに適切な光が入るように被写体の明るさを計測する、測光方式を設定します。
設定方法や種類は静止画モードと同様です。P.28を参照してください。

フォーカスモード

フォーカスの設定します。
設定方法や種類は静止画モードと同様です。P.23を参照してください。

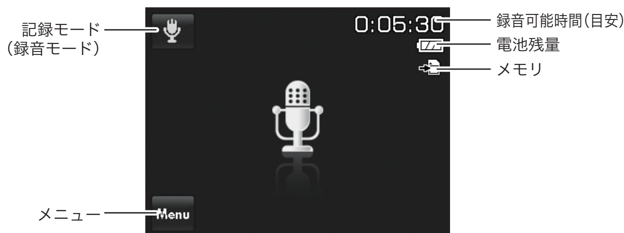
事前録画

事前録画の設定します。P.32を参照してください。

カラーコード

動画の色合い(カラー)を設定します。
設定方法や種類は静止画モードと同様です。P.30を参照してください。

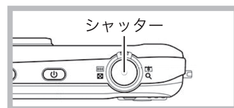
音声を録音する



①カメラの電源をオンにします。

②モニタの**〈記録モード〉**アイコンをタッチして、**録音モード**を選択します(→P.18)。

③音源にマイクを近づけ、**〈シャッター〉**を押して録音を開始します。



◆録音中の録音時間が表示されます。

④録音を停止するには、再度**〈シャッター〉**を押します。

◆録音の前に、日付と時間の設定をおこなってください(→ P.20)。
◆録音可能時間はメモリの空き容量に依存し、空き容量が無くなると録音は終了し、モニタに「メモリーフル」の表示が出ます。また、音声ファイルの1ファイルの再大容量は4GBです。録音時にファイル容量が4GBに達すると録音を終了します。
◆録音ファイルはWAVファイル形式です。

モニタ左下部の Menu アイコンをタッチすると録音モードのメニュー画面になり、記録モードの項目が選択できます。

記録モードの設定方法や種類は静止画モードと同様です。P.18、P.25〜27を参照してください。

静止画ファイルを再生する

【静止画ファイルの再生画面】

再生モード
ロック
DPOF
前
ボイスメモ
メニュー
ファイル番号/総ファイル数
電池残量
メモリ
次
削除
モニタ表示

99999/99999
F13.0 1/2000
+2.0EV ISO3200
100-0001
8M AUTO 2010.12.24 12:00
Menu

シャッタースピード
F値
EV補正
ISO
フラッシュ
ホワイトバランス

お気に入り
写真サイズ
記録モード
フォルダ番号/ファイル名
日付/時間

①カメラの電源をオンにします。

②**〈再生〉**ボタンを押して**再生モード**にします(→P.18)。



③モニタ左右の アイコンにタッチすると前のファイルに、 アイコンにタッチすると次のファイルに移動します。

④**〈再生〉**ボタンを押すと**記録モード**に戻ります。

静止画ファイルの拡大表示

静止画ファイルは最大12倍まで拡大表示することができます。

【拡大表示画面】



インジケーター

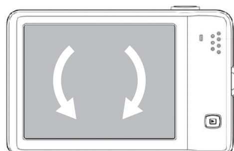
①静止画ファイルの表示中に**〈ズームレバー〉**を右（ズームイン方向）に押すと拡大表示することができます。**〈ズームレバー〉**を左（ズームアウト方向）に押すと縮小します。

②拡大表示中にモニタの中央部で指をスライディングすると表示範囲を移動できます。表示領域はモニタのインジケーターに表示されます。

③拡大表示を解除するには**〈ズームレバー〉**を左（ズームアウト方向）に押して縮小するか、**〈シャッター〉**を押すと通常の再生画面に戻ります。

4倍に拡大表示

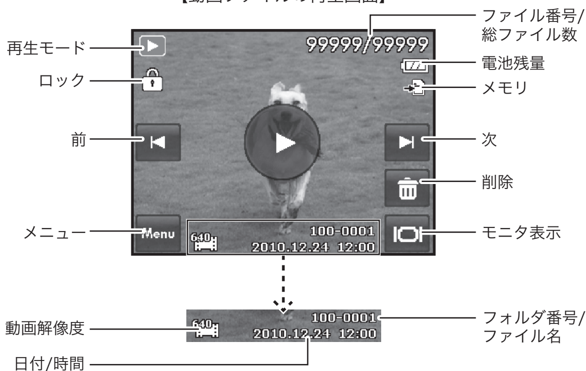
静止画ファイルを表示中に、モニタの中央部で右回りまたは左回りに回転させながら指を滑らせると、静止画ファイルが4倍に拡大表示します。



◆拡大表示は静止画ファイルのみです。動画ファイルや音声ファイルは拡大表示しません。

動画ファイルを再生する

【動画ファイルの再生画面】



【動画ファイルの再生中画面】



①動画ファイルの再生画面でモニタの ▶ アイコンをタッチすると、動画ファイルの再生が始まります。画面左上には再生の経過時間とファイル時間を表示します。

②再生を一時停止するには ‖ アイコンをタッチします。一時停止を解除するには ▶ アイコンをタッチします。

③ ◀◀ アイコン、▶▶ アイコンにタッチすると早戻し/早送り再生します。早戻し/早送り再生を解除するには ▶ アイコンをタッチします。

④ 🔊 アイコンにタッチするか、**〈ズームレバー〉**を押すと音量が表示されます。音量バーを指で上下にスライディングさせるか、**〈ズームレバー〉**を操作して音量を調節します。

◆早戻し/早送り再生中は音声は再生されません。

◆一時停止中、早戻し/早送り再生中は音量の調節はできません。

⑤ 🔁 アイコンにタッチするとリピートの有無を設定できます。

◆リピート再生は解除されるまで続けます。

⑥ ■ アイコンにタッチすると動画ファイルの再生は停止し、動画ファイルの再生画面に戻ります。

◆操作パネルは約2秒で消えます。再表示させるにはモニタをタッチしてください。

動画ファイルの静止画キャプチャ

動画ファイルから静止画をキャプチャします。

①動画ファイルの再生を一時停止にします。

②モニタの 📷 アイコンにタッチすると、静止画がキャプチャされ、自動で保存されます。

【動画ファイルの再生画面】



音声ファイルを再生する

【音声ファイルの再生画面】



【音声ファイルの再生中画面】



①音声ファイルの再生画面でモニタの ▶ アイコンをタッチすると、音声ファイルの再生が始まります。画面左上には再生の経過時間とファイル時間を表示します。

②再生を一時停止するには ‖ アイコンをタッチします。一時停止を解除するには ▶ アイコンをタッチします。

③ ■ アイコンにタッチすると音声ファイルの再生は停止し、音声ファイルの再生画面に戻ります。

◆操作パネルは約2秒で消えます。再表示させるにはモニタをタッチしてください。

◆リピート、音量の操作方法は動画ファイルと同様です(→P.38)。

ファイルの削除と表示方法

削除

表示ファイルを削除します。

【削除画面】

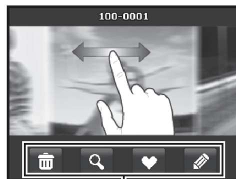


アイコンにタッチすると、表示中のファイルを削除できます。確認画面が表示されるので『はい』をタッチするとファイルは直ちに削除されます。『キャンセル』をタッチするとファイルは削除されず再生画面に戻ります。

クイックセレクト表示

全ファイルをクイックセレクト表示します。ファイル検索に便利な機能です。

【クイックセレクト画面】



メニュー項目

①再生モードでモニタのアイコン以外をタッチするとクイックセレクト画面になります。

②クイックセレクト画面では、画面上で指を左右にスライディングさせてファイルを移動します。小さくスライディングさせると1ファイルづつ、大きくスライディングさせると数ファイル移動します。

③画面下のメニュー項目のアイコンにタッチすると、それぞれのメニューの選択画面が表示されます。

④画面中央のファイルにタッチすると再生画面に戻ります。

アイコン	メニュー項目	はたらき
	削除	ファイルを削除します。
	写真検索	好み別/シーン別/日付別にファイルを検索します(→P.42)。
	お気に入り	ファイルをお気に入りフォルダ別に整理できます(→P.43)。
	ペインター	ペインターに移動します(→P.45)。

サムネイル表示

全ファイルをサムネイル表示します。ファイル検索に便利な機能です。

①再生モードで**〈ズームレバー〉**を左(ズームアウト方向)に押すとサムネイル画面になります。

②サムネイル画面では、画面下の ◀ アイコン、▶ アイコンにタッチするか、中央のバーで指を左右にスライディングさせるとファイルを移動します。

③再生したいファイルにタッチすると再生画面に戻ります。

【サムネイル画面】



カレンダー表示

ファイルをカレンダー表示します。撮影日別のファイル検索に便利な機能です。

①再生モードで**〈ズームレバー〉**を左(ズームアウト方向)に2度押すとカレンダー画面になります。

②カレンダー画面では、画面下の ◀ アイコン、▶ アイコンにタッチして月を移動します。

③再生したいファイルにタッチすると再生画面に戻ります。

【カレンダー画面】



その日の一番最初に撮影されたファイルがアイコンになります。

他のアイコンの意味は以下になります。

アイコン	メニュー項目	はたらき
	音声ファイル	音声ファイルを表します。
	ファイルエラー	エラーファイルを表します。

再生モードのメニュー設定

モニタ左下部の Menu アイコンをタッチすると、ファイルのいろいろな設定が選択できる**メニュー画面**になります。
メニュー設定の操作方法はP.25を参照してください。

画像消去

ファイルを削除します。

一枚 ：表示ファイルを削除します。

音声のみ ：静止画のボイスメモがある場合、ボイスメモのみ削除します。

選択 ：ファイルがサムネイル表示になります。削除したいファイルにタッチすると アイコンが表示されます。同様に複数ファイルを選択でき、一括で削除できます。選択後、『OK』をタッチします。

全部 ：全てのファイルを削除します。

◆プロテクト(→P.46)されているファイルは削除できません。

写真検索

ファイル検索に便利な機能です。

好み別 ：『お気に入り』(→P.43)を設定したファイル別に検索し表示します。

シーン別 ：ファイルを撮影されたシーンモード別に検索し表示します。

日付別 ：全てのファイルを撮影された日付別に検索し表示します。

スライドショー



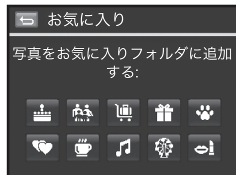
静止画ファイルをスライドショー再生します。

間隔、遷移(ファイルの切り換え方法)、繰り返しを設定し、『スタート』にタッチするとスライドショー再生が開始されます。スライドショー再生を一時停止するにはモニタの アイコンをタッチします。スライドショー再生を再開するにはモニタの アイコンを再度タッチします。スライドショー再生を停止するにはモニタの アイコンにタッチすると再生画面に戻ります。

◆動画ファイル、音声ファイルには設定できません。

お気に入り

ファイルにアイコンを付けて分類できます。



10種類のお気に入りアイコンからタッチして設定します。お気に入りを設定するとファイルの再生画面にお気に入りの各アイコンが表示されます。設定を解除するには再度『お気に入り』にタッチします。確認画面が表示されるので、『はい』にタッチすると解除されます。『キャンセル』にタッチすると設定は解除されずにメニュー画面に戻ります。

お気に入りを設定すると『写真検索』(→P.42)の『好み別』から検索できます。

クリックリタッチ

静止画ファイルのコントラストと彩度を調整し、新規ファイルとして保存します。



< アイコン、> アイコンをタッチして『低』、『標準』、『高』よりアイコンを選択し、選択したアイコンをタッチします。確認画面が表示されるので、『はい』にタッチすると新規ファイルとして保存されます。『キャンセル』にタッチすると保存されずにメニュー画面に戻ります。

◆動画ファイル、音声ファイルには設定できません。

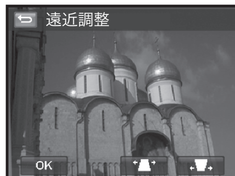
赤目補正

静止画ファイルの人物の目がフラッシュ撮影等の影響で赤くなってしまった場合、補正して新規ファイルとして保存します。

モニタの『スタート』にタッチすると補正が開始されます。確認画面が表示されるので、『はい』にタッチすると新規ファイルとして保存されます。『キャンセル』にタッチすると保存されずにメニュー画面に戻ります。

◆動画ファイル、音声ファイルには設定できません。

遠近調整



静止画ファイルの遠近による歪みを調整し、新規ファイルとして保存します。

アイコン、アイコンをタッチして歪みを調整します。アイコンをタッチするごとに歪みは調整されます。最大10回まで調整を追加できます。『OK』をタッチして調整を終了します。確認画面が表示されるので、『はい』にタッチすると新規ファイルとして保存されます。『キャンセル』にタッチすると保存されずにメニュー画面に戻ります。

◆動画ファイル、音声ファイルには設定できません。

放射状のぼかし

静止画ファイルを放射状にぼかし、新規ファイルとして保存します。

‹ アイコン、› アイコンをタッチして『低』、『標準』、『高』よりアイコンを選択し、選択したアイコンをタッチします。確認画面が表示されるので、『はい』にタッチすると新規ファイルとして保存されます。『キャンセル』にタッチすると保存されずにメニュー画面に戻ります。

◆動画ファイル、音声ファイルには設定できません。

カラーコード

静止画ファイルにカラー効果を設定し、新規ファイルとして保存します。

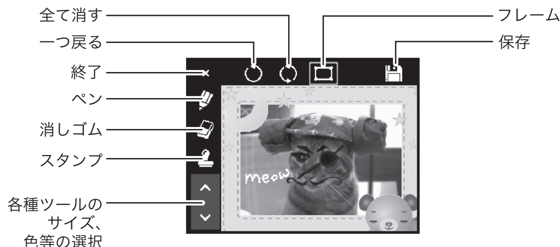
セピア / モノクロ / ネガ / モザイク / 赤 / 緑 / 青

‹ アイコン、› アイコンをタッチして各カラーコードのアイコンを選択し、選択したアイコンをタッチします。確認画面が表示されるので、『はい』にタッチすると新規ファイルとして保存されます。『キャンセル』にタッチすると保存されずにメニュー画面に戻ります。

◆動画ファイル、音声ファイルには設定できません。

ペインター

静止画ファイルに文字を書いたり、スタンプやフレームを付けたり等加工して、新規ファイルとして保存します。



加工後 アイコンをタッチすると新規ファイルとして保存されます。 アイコンをタッチすると確認画面が表示されるので、『はい』にタッチするとペインターを終了します。『キャンセル』にタッチするとペインターに戻ります。

◆動画ファイル、音声ファイルには設定できません。

ボイスメモ



静止画ファイルにはボイスメモ機能で、音声を添付することができます。

アイコンをタッチするとボイスメモの録音を開始します。ボイスメモは最大30秒保存できます。30秒経過するか アイコンをタッチするとボイスメモの録音を終了します。

再生画面で アイコンをタッチするとボイスメモの再生を開始します。再生の操作方法は音声ファイルの再生と同様です(→P.39)。

◆既にボイスメモが添付されている場合、ボイスメモの録音を開始すると上書き保存されます。
◆動画ファイル、音声ファイルには設定できません。

プロテクト

ファイルをプロテクト(保護)します。プロテクトを設定するとファイルの再生画面に アイコンが表示されます。



削除操作からファイルを保護することができますが、フォーマット(→P.51)操作を行うと、保護は無効となりファイルは失われますのでご注意ください。

一枚　　：表示ファイルをプロテクトします。モニタの『ロック』をタッチするとアイコンが表示されます。 アイコンをタッチするとプロテクトが確定します。 アイコン、 アイコンをタッチして、プロテクトするファイルを移動できます。設定を解除するには再度『プロテクト』から『一枚』を選択し、『ロック解除』をタッチします。 アイコンをタッチするとプロテクトが解除されます。

選択　　：ファイルがサムネイル表示になります。プロテクトしたいファイルにタッチすると アイコンが表示されます。同様に複数ファイルを選択でき、一括でプロテクトできます。選択後、『OK』をタッチします。

全てロック：全てのファイルをプロテクトします。

全て解除　：全てのファイルのプロテクトを解除します。

トリミング

静止画ファイルはトリミングすることができます。新規ファイルとして保存します。

〈ズームレバー〉を押すと、トリミングサイズを変更できます。トリミング範囲はモニタのインジケーターに表示されます。モニタの中央部で指をスライディングするとトリミング範囲を移動できます。選択後、写真サイズのアイコンにタッチします。



インジケーター

◆動画ファイル、音声ファイルには設定できません。

◆写真サイズ3:2(4320×2880ピクセル)、16:9(1920×1080ピクセル)、VGA(640×480ピクセル)ではトリミングできません。

サイズ調整

静止画ファイルのサイズを変更します。各サイズのアイコンにタッチするとファイルは直ちにサイズ変更され、新規ファイルとして保存します。

8M / 5M / 3M / VGA

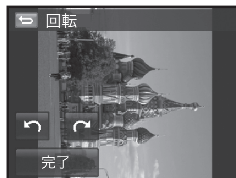
◆動画ファイル、音声ファイルには設定できません。
◆写真サイズ3:2(4320×2880ピクセル)、16:9(1920×1080ピクセル)、VGA(640×480ピクセル)ではサイズ調整できません。
◆サイズを大きくはできません。

回転

静止画ファイルを回転し保存します。

アイコン、アイコンをタッチするごとに90°づつ回転します。『完了』をタッチするとファイルは上書き保存されます。

◆動画ファイル、音声ファイルには設定できません。



起動画像

カメラの起動時の画像を設定します。

アイコン、アイコンをタッチして『システム』、『マイ画像』、『オフ』よりアイコンを選択します。アイコンをタッチすると直ちに起動画像に設定されます。



システム : システムに保存されているaigoロゴに設定されます。

マイ画像 : カメラで撮影した静止画像を起動画像に設定します。アイコン、アイコンをタッチして設定するファイルを選択し、『マイ画像』をタッチすると設定されます。

オフ : 起動画像を設定しません。

◆動画ファイル、音声ファイルには設定できません。

DPOF

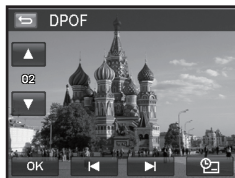
静止画ファイルのDPOFの設定ができます。

DPOFとは

DPOF(デジタル・プリント・オーダー・フォーマット)は、SDメモリーカードなどの記録メディアに保存している静止画に対して、一括印刷の指定をすることができる、プリント用フォーマットです。
画像をプリントサービス店で出力する場合や、DPOF対応プリンターで出力する場合に便利です。



○DPOF対応プリンターでも、プリンターによっては本製品と対応せず、設定が機能しない場合があります。



▼ アイコン、▲ アイコンをタッチしてプリント枚数を設定します。続けて設定する場合は ⏮ アイコン、⏭ アイコンをタッチしてファイルを移動します。 アイコンをタッチすると日付スタンプが設定されます。『OK』をタッチすると設定が確定し、再生画面に戻ります。

一枚　**:** 一ファイルごとに設定します。

全て　**:** 全てのファイルに同じ設定をします。

リセット　**:** 全てのファイルの設定を解除します。

◆動画ファイル、音声ファイルには設定できません。

カメラ環境を設定する

カメラの使用環境の設定は、**設定モード**で設定します。各モードのメニュー画面で**設定モード**の アイコンをタッチすると、カメラ環境のいろいろな設定ができる、設定モードのメニュー画面が表示されます。

設定モードの基本操作

①記録モード、または再生モードでモニタの Menu アイコンをタッチします。

②メニュー画面が表示されたら、**設定モード**の アイコンをタッチします。

②モニタの ▲ アイコン、▼ アイコンをタッチして『メニュー項目』から設定したい項目を選択しタッチします。

③『サブメニュー項目』が表示されるので、設定したい項目にタッチして設定を確定します。設定が確定するとメニュー画面に戻ります。

※設定を変更しない場合は アイコンをタッチするとメニュー画面に戻ります。 アイコンをタッチすると元のモードに戻ります。

【設定モードのメニュー画面】



メニュー項目



サブメニュー項目

操作音

カメラ起動時の音や、シャッター、操作音の有無を設定します。各項目をタッチした後『OK』をタッチすると設定が確定します。

起動音　：1 / 2 / 3 / OFF　　**シャッター：オン / オフ**

操作音　：オン / オフ

省電力

電源の消し忘れ、電池消耗防止の機能です。何も操作しない状態が設定分間続くと、自動的にモニタがオフになり、その後何も操作しない状態が1分間続くと、自動的に電源がオフになります。

1分 / 3分 / 5分 / オフ

◆動画の録画中、音声の録音中、動画ファイルの再生中、USB接続中ではこの機能は働きません。

液晶の減光

電池消耗防止の機能です。何も操作しない状態が20秒間続くと、自動的にモニタを減光します。

オン / オフ

◆動画の録画中、音声の録音中、動画ファイルの再生中、USB接続中ではこの機能は働きません。

日時

日付と時間を設定します(設定方法はP.20を参照してください)。

言語

日本語、その他の表示言語を設定します。

ファイル番号

ファイル番号を継続するか、リセットするかを設定します。

続き / リセット

TV放送方式

テレビ接続(→P.57)の際に、あらかじめテレビの信号方式を選びます。日本で使用する場合は『NTSC』を選択します。

NTSC **:** **日本**、韓国、台湾、アメリカ、カナダなど

PAL **:** 中国、イギリス、ドイツ、イタリア、インドネシアなど

液晶輝度

モニタの輝度を設定します。

オート / 高輝度 / 標準

メモリキット

内蔵メモリやカードのフォーマット、ファイルのコピーをおこないます。

フォーマット　: 内蔵メモリを、カード装着時にはカードをフォーマットします。

カードへコピー : 内蔵メモリ内のファイルをカードへコピーします。

全てリセット

『日付』以外のカメラの設定を、工場出荷時の設定に戻します。

パソコンへ取り込む

パソコンへカメラの画像を取り込むときは下記の手順で操作してください。

守ってください

ファイルを取り込む際には以下の注意事項を必ず守ってください。



○リムーバブルディスクからコピーをおこなっているとき(ファイル取り込み時)は、USBケーブル、SDメモリーカードを絶対に抜かないでください。

○本機以外の他機器で記録した動画ファイル、静止画ファイル、音声ファイルは、本機で再生できない場合があります。

○リムーバブルディスク内にあるフォルダおよびファイルの名前は、パソコンで変更しないでください。

○リムーバブルディスクをパソコンでフォーマットしないでください。

○リムーバブルディスク内にあるファイル(画像等)は、SDメモリーカード、または内蔵メモリに保存されているファイルです。このフォルダにあるファイルを削除してしまうと、SDメモリーカード、または内蔵メモリに保存されているファイルが消去されます。

取り込みの手順

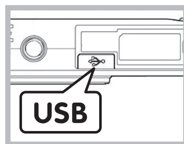
①付属のUSBケーブルでカメラ(電源オフ)をパソコン(電源オン)に接続します。

②カメラの電源をオンにします。

③カメラがUSBモードになります。モニタの『パソコン』をタッチします。

④パソコンがカメラを自動認識します。認識されるまでしばらくお待ちください。

カメラのUSB接続端子



パソコンのUSB接続端子



◆USB端子が標準装備されたパソコンに限ります。

◆USBハブや、拡張USBボードで接続した場合、カメラを認識しなかったり、エラーメッセージが表示されることがありますのでご注意ください。

◆Windows対応OSは、Windows 2000 / XP / Vista / 7、Macintosh対応OSはMac OS 10.3〜10.6.4(2011年2月現在)となります。
◆カメラのモニタは消えます。



○USB端子にUSBケーブルを接続する際には、端子の向きに注意してください。間違った向きで無理に差し込むと、端子が破損してしまいます。

パソコンがカメラを認識した後、カメラの電源はオフになり、充電池の充電を開始します。

以降パソコンでの操作となります。

Windowsに取り込む

⑤**[マイコンピュータ]**(Windows Vista / 7の場合[コンピュータ、またはコンピューター])の中に、**[リムーバブルディスク]**※という名前のドライブが表示されます。

⑥**[リムーバブルディスク]**※ → **[DCIM]** → **[DCIMの中の各種フォルダ]**の順にダブルクリックして開きます。**[DCIMの中の各種フォルダ]**の中に記録したファイルが入っています。

※お使いのパソコン環境により名称が異なる場合があります。



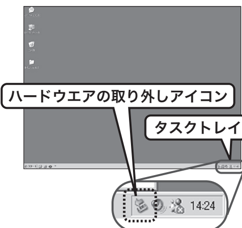
○この時点では、記録したファイルはパソコンに取り込まれていません。この中のファイルを消去してしまうと、記録しているファイルが消去されてしまいます。

⑦取り込みたいファイルを選択しパソコンの任意のフォルダに保存(コピー)して、取り込みは完了です。

⑧パソコンとカメラの接続を、以下の手順で正しく接続を外します。

❶[タスクトレイ]の[ハードウエアの取り外し]アイコンをダブルクリックして、該当するドライブを停止します。

❷『安全に取り外すことができます』というメッセージが出てからカメラの接続を外します。



■ Windows Vista / 7で

Windows Vista / 7をお使いの場合、お使いのパソコンの環境・設定により、本体とパソコンを接続した際に右図の読み込み画面が表示されます。[読み込み]のボタンを押すと、手順⑤〜⑦の操作をせずに、取り込みができます。



◆[オプション]の設定には、読み込み後に本体のデータを消去する設定がありますのでご注意ください。

Macintoshに取り込む

⑤デスクトップに**[リムーバブルディスク]**※アイコン(ドライブ)が表示されます。

⑥**[リムーバブルディスク]**※ →**[DCIM]**→ **[DCIMの中の各種フォルダ]**の順にダブルクリックして開きます。**[DCIMの中の各種フォルダ]**の中に記録したファイルが入っています。

※お使いのパソコン環境により名称が異なる場合があります。



○この時点では、記録したファイルはパソコンに取り込まれていません。この中のファイルを消去してしまうと、記録しているファイルが消去されてしまいます。

⑦ファイルを選択し、Macintosh内の任意のフォルダに保存すれば、取り込みは完了です。

⑧[リムーバブルディスク]アイコンをワンクリックして選択し、アップルメニューの[ファイル]にある[取り出し]を選んで実行するか、アイコンを[ゴミ箱]へドラッグ＆ドロップします。アイコンの表示がデスクトップから消えた事を確認します。

⑨Macintoshから本体の接続を外します。

プリンターから印刷する

ダイレクトプリント

カメラと「ダイレクトプリント機能」対応のプリンターを付属のUSBケーブルで接続して、パソコンを経由せずに静止画のみプリントアウトが可能です。



○本機能はプリンタの仕様に依存します。ダイレクトプリント対応のプリンタでも使用できない場合や、使用できない機能、設定の制限があります。また、撮影した画像サイズに対応せず、印刷できない場合があります。あらかじめご了承ください。

①付属のUSBケーブルでカメラ(電源オフ)をプリンター(電源オフ)に接続します。

②カメラとプリンターの電源をオンにします。

③カメラがUSBモードになります。モニタの『プリンター』をタッチします。

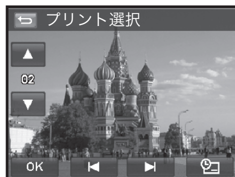
④プリンターがカメラを認識します。カメラは印刷モード画面になります。

⑤『選択』、または『全て』にタッチします。

⑥ ▼ アイコン、▲ アイコンをタッチしてプリント枚数を設定します。続けて設定する場合は ⏮ アイコン、⏭ アイコンをタッチしてファイルを移動します。

⑦ [日付スタンプ] アイコンをタッチすると日付スタンプが設定されます。

⑧『OK』をタッチすると設定が確定し、印刷を開始します。



選択　：一ファイルごとに設定してプリントします。

全て　：全てのファイルに同じ設定をしてプリントします。

索引　：サムネイルをプリントします。

ArcSoft MediaImpression

画像や動画、音楽ファイルの一括管理ソフトです。ファイルを整理し、必要なメディアファイルを高速で検索することができます。また、画像を編集したり、動画と音楽を組み合せてオリジナルムービーを作成することもできます。完成した作品を、Eメールで家族や友人に送信したり、YouTubeに簡単にアップロードすることもできます。



◆付属のCD-ROMはWindowsのみ対応です。

詳しい使用方法は、ソフトウエアのヘルプをご参照ください。 **http://www.arcsoft.com/ja-jp/index.asp** **アークソフト株式会社** ※2011年2月現在

パソコンにインストールする



○インストールの前に、開いている全てのアプリケーションを終了させてください。

①付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットします。自動的にインストール画面が表示されます。

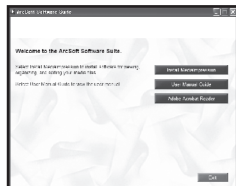
表示されない場合は、[マイコンピュータ]（Windows Vista / 7の場合[コンピュータ、またはコンピューター]）を開き、CD-ROMドライブアイコンを開きます。

②『**Install MediaImpression**』をクリックします。

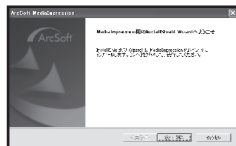
③インストールが開始されます。画面の指示にしたがって、インストールを進めます。

④インストール後に『完了』をクリックします。その後、パソコンの再起動をおこなってください。

【CD起動画面】



【インストール画面】



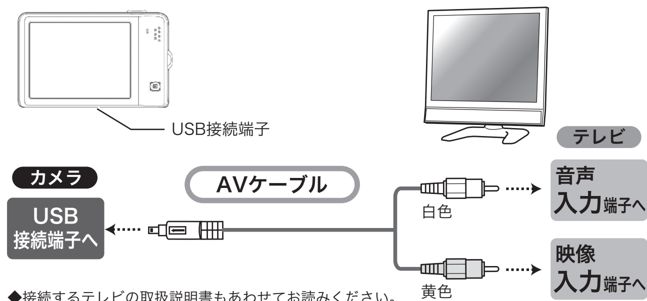
テレビ接続

付属のAVケーブルでカメラとテレビを接続すると、テレビ画面がカメラのモニタの役割となり、テレビに接続したまま撮影したり、撮影した画像を再生することができます。

テレビとカメラを接続する

①あらかじめテレビの信号方式を選びます。日本で使用する場合は『NTSC』を選択します(→P.50)。※設定が誤っていると、テレビ画面に正常に映りません。

②付属のAVケーブルでカメラとテレビ(両方ともに電源オフ状態)を接続します。



◆接続するテレビの取扱説明書もあわせてお読みください。

接続後の操作方法

①テレビの電源をオンにして、テレビを外部入力に設定します。

②カメラの電源をオンにするとモニタはオフ表示となり、テレビ画面がモニタの役割となります。

③タッチパネルでの操作が必要な場合は、モニタにタッチすると表示はカメラに戻ります。

④テレビに表示を戻す場合は、モニタ右上の にタッチします。

⑤接続を終了するときは、カメラとテレビ両方の電源をオフにしてから、ケーブルの接続を解除してください。

トラブルシューティング

故障と思われたら、もう一度確認・点検してみましょう。

カメラ操作時のトラブル

Q. カメラの電源が入りません。

A. ① 充電池の電池容量がなくなっている可能性があります。充電池を充電したのち、ご使用ください。

② 充電池の+−極の方向が正しくセットされていない可能性があります。再度正しい方向に入れ直してください。

Q. カメラの電源が突然切れます。

A. ① 充電池の電池容量がなくなっている可能性があります。充電池を充電したのち、ご使用ください。

② 『省電力』機能(→P.50)が働いた可能性があります。再度**〈電源〉**ボタンを押して電源をオンにしてください。

Q. 撮影できません。

A. ① メモリに空き容量が無くなった可能性があります。必要なデータをパソコンに取り込んだ後、メモリから消去してください。

② SDメモリーカードがロックされている可能性があります。カードのプロテクトスイッチを解除してください。

Q. 静止画がぼけます。

A. ① 撮影距離が適正でない可能性があります。

通常撮影：12cm〜∞(ワイド時)、70cm〜∞(テレ時)
マクロ　：12cm〜100cm(ワイド時)、70cm〜120cm(テレ時)

② 撮影時、カメラがぶれてしまった可能性があります。**〈シャッター〉**を押した後に、画面に表示が戻るまでしっかりと固定してください。また、レンズに指が被らないように注意してください。

Q. 撮影した画像が粗くなります。

A. 高倍率のデジタルズーム(→P.19)を使用すると画像が粗くなる場合があります。

パソコン接続時のトラブル

Q. リムーバブルディスクとしてパソコンに認識されません。

A. ① USBケーブルの接続ができていない可能性があります。しっかりと再接続してください。また、USBケーブルはUSBハブや拡張USBボードで接続した場合、正確に動作しない場合があります。

② 動作対象以外のパソコンOSを使用している可能性があります。

Q. リムーバブルディスクが見当たりません。

A. リムーバブルディスクの名称は、お使いのパソコンの環境により、名称が異なる場合があります。それらしいドライブを開いてみてください。

Q. パソコンに接続したのに画像が取り込まれていません。

A. 接続後、[リムーバブルディスク] → [DCIM]の順にフォルダをダブルリックして開きます。この[DCIM]内にファイルが保存された各種のフォルダがあります。
画像を選択し、パソコンの任意の場所にコピーして取り込みは完了です。

Q. ソフトウエアを使用して画像の取り込みをしたが、カメラの接続解除ができません。

A. 取り込みに使用したソフトウエアを終了させてから、[タスクトレイ]にある[ハードウエアの取り外し]アイコンをダブルクリックし、接続を解除してください。ソフトウエアを先に終了しないと、「安全に取り外すことができます」というメッセージは表示されず、接続を解除できません。

テレビ接続時のトラブル

Q. テレビと接続できません。

A. ①『TV放送方式』(→P.50)の設定が正しく行われていない可能性があります。ご使用の地域に合わせて正しく設定してください。

② カメラ側またはテレビ側の端子に、正しくケーブルが接続されていない可能性があります。端子を確認し、再接続してください。

③ テレビ側の外部入力設定が正しく設定されていない可能性があります。テレビの取扱説明書を確認してください。

④ 正しい手順でのカメラ設定や接続が行われていない可能性があります。P.57の「テレビ接続」の操作手順を再確認してください。

製品の仕様

撮像素子	1/2.3型　1448万画素CCDイメージセンサー 有効画素数：1399万画素/総画素数：1448万画素
内蔵メモリ	32MB容量フラッシュメモリ ※1
対応外部記憶媒体	SDメモリーカード（SDHCメモリーカード対応） 対応容量：SD 128MB～2GB/SDHC 4GB～32GB
保存形式	静止画：JPEG Exif 2.2準拠/動画：AVI/音声：WAV
写真サイズ	14M：4320×3240ピクセル ※2/3:2：4320×2880ピクセル/ 8M：3264×2448ピクセル/5M：2592×1944ピクセル 3M：2048×1536ピクセル/16:9：1920×1080ピクセル VGA：640×480ピクセル 画質：スーパーファイン/ファイン/標準
動画サイズ	16:9：1280×720ピクセル/640：640×480ピクセル 320：320×240ピクセル/Web：640×480ピクセル 撮影コマ数：30fps コーデック方式：MotionJPEG（画像）/PCM（音声）
モニタ	3.0型（インチ） タッチパネル搭載LCDカラー液晶モニタ
レンズ	F 2.8(W) - 6.3(T) f=5.05(W) - 20.2(T)mm （35mmカメラ換算 28(W) - 112(T)mm）
撮影距離	通常撮影：12cm～∞（ワイド時）、70cm～∞（テレ時） マクロ　：12cm～100cm（ワイド時）、70cm～120cm（テレ時）
ズーム	光学4倍/デジタル5倍 ※3
シャッター	機械式/電子式　オート：1～1/2000秒 夜景：15～1/2000秒　花火：2秒
EV（露出）補正	–2.0EV～+2.0EV（1/3EV単位）
ISO感度	オート/100/200/400/800/1600/3200/6400
ホワイトバランス	オート/太陽光/曇り/白熱灯/蛍光灯1/蛍光灯2/カスタム
記録モード	オート/動画/プログラム/インテリジェント/ポートレート/風景/夕日/逆光/キッズ/夜景/ロモ/花火/雪景色/スポーツ/パーティ /キャンドルライト/夜景ポートレート/肌色/流水/食べ物/建物/文字/木の葉/オークション/スマイルキャプチャ /まばたき検出/多重撮影/恋人/自画像/HDR/魚眼レンズ/録音
フラッシュ	オートフラッシュ /赤目軽減/フォースオン（強制発光）/スローシンク/フォースオフ（発光禁止）　有効範囲：1～4m

測光方式	マルチ/中央部重点/スポット
連写	連写/迅速な記録
カラーコード	ノーマル/ビビット/セピア/白黒/レッド/グリーン/ブルー /カラーアクセント(レッド)/カラーアクセント(グリーン)/カラーアクセント(ブルー)
セルフタイマー	10秒タイマー /2秒タイマー /10秒タイマー(2枚)
省電力	1分/3分/5分/オフ
出力端子	USB2.0 ※**4**/映像音声出力端子(併用)
マイク	内蔵
スピーカー	内蔵
電源	専用リチウムイオン充電池 ※**5**
電源寿命	静止画 約150枚(CIPA準拠)/動画 約1時間 ※**6**
使用環境	温度0℃～40℃/湿度0%～90%(結露なきこと)
外形寸法	約(W)92mm×(H)59mm(D)20mm(ストラップ取付部除く)
重量	約110g(充電池除く)

○すべてのデータは、当社測定条件によります。都合により記載内容を予告なしに変更することがあります。

※1 内蔵メモリはシステムとして使用する部分もあり、搭載しているメモリ全てを記録に使用できるわけではありません。

※2 解像度16:9(1280 x 720ピクセル)はSDHCメモリーカードにのみ対応しています。

※3 動画撮影時のズーム操作中は音声は録音されません。

※4 USB1.1インターフェースのパソコンと接続すると、USB1.1として動作します。

※5 本製品付属の専用リチウムイオン充電池以外は使用しないでください。

※6 電池の種類、メーカー、ブランド、製造日までの保存期間、また使用状況により、電池性能に差が生じ、電池寿命が記載より短くなる場合があります。本仕様はあくまでも目安としてご参考ください。

液晶画面について

以下は液晶画面の特性によるもので、故障ではありません。

●一部に常時点灯、または常時点灯しない画素が存在する場合があります。

●明るさにむらが生じる場合があります。

●太陽光、ライトなどが当たると画面が見えにくくなります。

主な機能/特長

○ストレージクラス対応　○静止画撮影(マクロ撮影/セルフタイマー撮影/連写撮影/フラッシュ撮影)/再生　○音声付き動画撮影(マクロ撮影/事前録画)/再生　○音声録音/再生　○光学4倍、デジタル5倍ズーム撮影　○顔追跡　○手ブレ軽減　○DPOF　○ダイレクトプリント　○32MB内蔵メモリ搭載　○SD/SDHCメモリーカード対応

撮影可能枚数/時間の目安(内蔵メモリ使用時)

撮影の状況・被写体によって記録されるファイルサイズが一定でないため、記録可能時間/枚数に差があります。下記は目安としてご参考ください。

複数の機能で撮影した場合、メモリの残量に依存します。

【 静止画撮影 】

写真サイズ	画質		
	スーパーファイン	ファイン	標準
14M(4320×3240ピクセル)	1枚	2枚	4枚
3：2(4230×2880ピクセル)	1枚	3枚	5枚
8M(3264×2448ピクセル)	3枚	5枚	8枚
5M(2592×1944ピクセル)	5枚	8枚	12枚
3M(2048×1536ピクセル)	8枚	13枚	16枚
16：9(1920×1080ピクセル)	10枚	15枚	19枚
VGA(640×480ピクセル)	50枚	58枚	69枚

【 動画撮影 】

動画サイズ	録画時間
16：9(1280×720ピクセル)	SDHCメモリーカードに対応
640(640×480ピクセル)	00:00:13
320(320×240ピクセル)	00:00:22
Web(640×480ピクセル)	00:00:13

【 音声録音 】

録音時間	00:09:33

パソコン接続環境

下記OSがプリインストールされ、USBインターフェースが標準装備されていること。

	Windows	Macintosh
OS	Windows 2000 / XP / Vista / 7	Mac OS 10.3～10.6.4（2011年2月現在）
ハードディスク	200MB以上の空き容量（付属ソフトウェアインストール時に必要）	-
ドライブ	CD-ROM（付属ソフトウェアインストール時に必要）	-
ディスプレイ	16ビット以上	
インターフェース	USB 1.1　または　2.0	

接続環境を満たすパソコンの中でも、一部機種の設定や構成により正常に動作しない場合があります。あらかじめご了承ください。

○Windows Vista 32bit/64bit、Windows 7 32bit/64bitに対応します。

○上記以外のOS、アップグレードしたOS がインストールされているパソコンについては、動作保証の対象外です。

○USBハブ、拡張USBボードを経由した接続での使用、自作機や改造したパソコンについては動作保証致しません。

○付属の画像編集ソフトウェアはWindows 2000、XP、Vista、7のOS環境でのみ使用できます。

アフターサービス

■保証書の記入事項

本製品のパッケージには、保証書が同梱されております。保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください(保証書には保証規定が記載されていますのでよくお読みください)。

■修理をご依頼の前に

本取扱説明書の**トラブルシューティング**をよくお読みいただき、それでも解決しない場合には下記事務局までご相談ください。

製品に関するお問い合わせ

エグゼモード サポートセンター ☎0570-036-036

受付時間 10:00〜17:00
(土、日、祝祭日および当社指定休業日を除く)

メールアドレス　**support@exemode.com**
ホームページアドレス　**http://www.exemode.com**

■サポートセンターからのお願い

○通話中の場合、しばらく経ってからおかけ直しいただけますよう、お願い申し上げます。

○年末年始などのサポートセンター休業日には、お客さまへのご対応ができない場合がございます。

※本製品に関するお問い合わせ、およびサポート、サービスについては日本国内限定とさせていただきます。

■商標について

Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Macintoshは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。

その他、記載のシステム名、製品名および会社名は各開発メーカーの商標または登録商標です。

※記載の外観および仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

※本書の記載の誤りなどについての補償はご容赦ください。

※当社では常に製品の品質の改善を行っており、お客様のご購入時期によりましては同一製品の中にも多少の差があるものがございますがご了承ください。

※本書の内容につきましては、将来予告なしに変更することがあります。